

自由課題:地域でのがん医療・緩和ケアに関する連携の強化のための合同勉強会の実施
 (平成29年7月1日～12月末日)

施設名	Plan (計画)	Do (実行)	Check (評価)	Act (改善)
22 箕面市立病院	緩和ケアに関する地域合同勉強会を3回行う (8月、10月、12月)	当院緩和ケアチームと近隣の緩和ケア病棟、在宅緩和ケアクリニック、訪問看護ステーションのリーダーが集まり、勉強会のテーマや開催方法を検討し、箕面市立病院内で合同勉強会を年6回(偶数月)開催する。顔の見える連携を図り、質の高い緩和ケア実践に向けて知識を得る。	地域の医療従事者間に顔の見える関係を構築し、がん患者のケアを向上させるため、地域緩和ケアプロジェクト「箕面モデル」を立ち上げ、2017年度に6回の多職種勉強会を開催した。3月にキックオフミーティングを行い、4月「腸閉塞の緩和ケア」6月「在宅緩和ケアのケアプランの作り方」8月「終末期にホスピスから在宅移行した症例」10月「急性期病院での緩和ケア」12月「医療者が行う地域ボランティア」2月「箕面モデルの1年間の振り返り」毎回、50人程度の参加者があり、講義とグループワークを実施した。	地域の医療者や介護職とのグループワークの中で、お互いの仕事や考えを知ることができ、今後のがん緩和ケア地域連携に役立つ実践であった。来年度も継続して実施する予定。